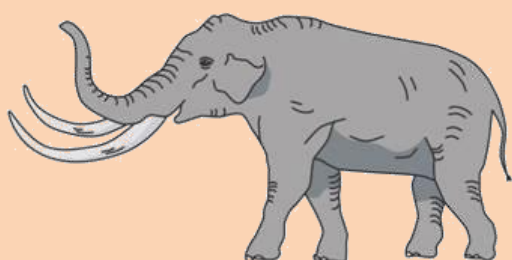


知っています？

狭山にも象が住んでいたこと。そう！いたんです。  
250万年前にね。

誰も見たことがない象 想像してみよう



さやまジャーナリスト発見シリーズ  
「アケボノ象の化石」

発行日：平成28年10月1日

発行：さやま市民大学  
まちづくりコース

地域ジャーナル講座3期生

指導講師：澤野 久美子

制作：角田 榮子

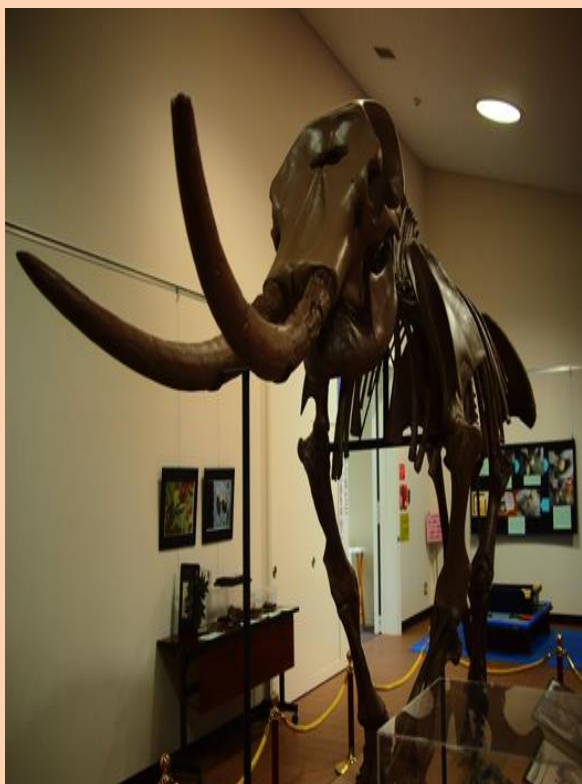
事務局：さやま市民大学

〒350-1304

埼玉県狭山市狭山台1-2

さやま元気プラザ内

# 狭山にも象が住んでいた！



狭山市立博物館の玄関

ホールに、可愛らしい象の模型があることをご存知でしょうか？

そーいたんです！

## 地球に象のいた頃

昔にさかのぼってみると、象の仲間はたいへん栄えており、地球のかなりの地域に住み着いておりました。象の仲間が地球に表れてから、その種類は350種類以上にもなります。

## 日本が大陸だったころ

日本にも象が住んでいました。熊谷や秩父には、ナウマン象・東洋象などであり、狭山にはアケボノ象が生息しておりました。

アケボノ象の仲間は、象の分類でいうと、ステドゴン科に入ります。ステドゴンは、屋根（ステゴス）状の奥歯（オンドレス）を持っていることからこの名前が付いたようです。この象約50万年から80万年にかけて生息していました。

肩の高さが2mにも満たない小型の象でした。

## いつ発見されたの？

アケボノ象の仲間の化石は西日本から多く発見されています。県内では、ここ狭山市笹井ダムの入間川左岸で昭和50年に初めて発見されたのが臼歯の化石でした。その後、昭和60年にはほぼ一体分の化石が発見されており全国では初めてでした。平成3年には入間川の洪水で水が引いた後、砂利が流され西武鉄道の加治鉄橋下からアケボノ象の足跡が粘土層の中から発見されています。アケボノ象がいた頃は、一緒に産出する植物や花粉化石の研究から、温暖な気候から寒くなりかけた頃と考えられます。

著者 角田栄子

## 参考資料

「みんなの地球学」

地学団体研究会埼玉支部

埼玉新聞社



狭山市笹井ダム アケボノ象の化石が発見された